

平成 24 年度点検評価報告書作成の経過について

月 日	作成経過
8 月 31 日	教育委員との第 1 回打合せ ・平成 24 年度実施方法の検討
8 月 31 日 ～9 月 14 日	事業担当課による点検評価表の作成 報告書（素案）の作成 ・WG での調整
9 月 26 日	教育委員との第 2 回打合せ ・報告書（素案）の検討
9 月 27 日	学識経験者との第 1 回会議 ・実施方法及び報告書（素案）の説明 報告書（素案）に対する意見聴取
10 月 4 日 ～10 月 15 日	報告書（案）の作成 ・WG での調整
10 月 25 日	学識経験者との第 2 回会議 ・報告書（案）の説明、意見聴取
10 月 31 日	教育委員との第 3 回打合せ ・報告書（案）の検討
11 月 1 日 ～11 月 22 日	報告書の調製 ・WG での調整
11 月 28 日	教育委員会 ・報告書の決定
(今後の予定) 12 月初旬	市議会定例会 ・報告書の提出、公表

学識経験者等からの意見への対応について

1 昨年度の点検評価において次年度以降の課題とした意見への対応

	意見	対応
①	<p>評価になじまない事業の点検評価について</p> <p>事業自体の見直しや震災による中止などの然るべき理由があつて事業を実施しなかった等、評価になじまない事業がある。「◎○△」のほかに「達成状況評価除外」を設けてはどうか。</p>	<p>事業の見直し、廃止によって実施しなかった事業、複数年に 1 回行う事業で実施年度ではなかった事業等については、達成状況評価除外を表す「-」（ハイフン）を設けた。</p>
②	<p>△評価の位置付けについて</p> <p>△評価が付いた事業は、「事業の進め方の改善」か「目標の変更」か、それとも「事業の廃止」か、そこまで踏み込んだ議論が必要である。なぜ△をつけたかという評価理由と、今後の課題、それからこれ今後どうするのかという方向性を明確にする必要がある。△をどう扱うのかということは、非常に大きな問題である。</p>	<p>△評価、-（ハイフン）の事業について、評価の理由を明記した。また、昨年度△評価の事業については、事業担当課別の評価「評価基準（値）及び評価の理由」【昨年度点検評価結果の現状への反映状況】を記載し、改善状況を明記した。さらに、「今後の課題」を「今後の課題と方向性」とし、昨年度、今年度ともに△評価の事業、-（ハイフン）の事業について【事業の方向性】を記載し、事業の終了など事業の継続や意義自体を検討し、明記することとした。</p>
③	<p>「担当課による点検及び評価」と「教育委員会による点検及び評価」の掲載順について</p> <p>「教育委員会による点検及び評価」を「担当課による点検及び評価」の前にもってきたらどうか。全体的な教育委員会の評価を示してから細部の評価を示した方がわかりやすいと思う。</p>	<p>「教育委員会による点検及び評価」を「担当課による点検及び評価」の前に配置した。また、点検評価の手順と掲載順が逆になることから、「I-1 点検及び評価の概要」の「(3)方法」にその旨を明記した。</p>

2 今年度の点検評価における意見への対応

(1) 報告書に反映させた意見

	意見	対応
①	「担当課による点検及び評価」の「今後の課題」欄に方向性を記載するのであれば、欄の名称を「今後の課題と方向性」としてはどうか。	「今後の課題」を「今後の課題と方向性」に改め、事業の廃止等の方向性について明記することとした。
②	「教育委員会による点検及び評価」を「担当課による点検及び評価」の前に掲載するのであれば、△評価の事業、- (ハイフン) の事業について記載し、点検評価全体を概観できるような内容とした方がいい。	「教育委員会による点検及び評価」に△評価の事業、- (ハイフン) の事業についての内容を記載するようにし、課題や事業の存続について当該項目で分かるようにした。
③	「教育委員会による点検及び評価」について、A 評価が「ほぼ達成されている」、B 評価が「概ね達成されている」とあるが、A 評価であれば「ほぼ」を削除した方が見やすい。	「教育委員会による点検及び評価」について、A 評価を「計画どおり達成されている」に改めた。

(2) 次年度以降の課題とした意見

	意見
①	「教育委員会による点検及び評価」が現状では担当課による評価の箇条書きになっている。計画目標に対する全体的な評価を掲載するのか、個別事業についての特記事項を掲載するのか、掲載内容を検討する必要がある。
②	計画値・目標値は、特に前年との比較が必要なものを除いて、基本的に過去3年間の平均値でいいのではないか。
③	補助金のように数値の増減がない事業、予算に縛られる事業など、評価しにくい事業もある。数値的には計画通り実施したということで○評価で統一するか、別記号を用いて区別することができればいいのではないか。
④	現状の点検評価報告書は、事業担当課の評価をじっくり読まないと分かりにくい形式になっている。教育プラン後期計画に対応する事業を全て評価しているからだと思うが、新しい教育振興基本計画においてどのように点検評価を行っていくのか、早い段階で考える必要がある。
⑤	今年度で5回目の点検評価となり、点検評価方法についてはある程度習熟してきている。今後はワーキンググループを活性化させ、自課の担当部分以外についても読み合わせて議論するなどすれば、より分かりやすいものができるのではないか。
⑥	達成状況の評価について、過去の評価状況(◎○△)についても掲載すれば分かりやすい。